

| | |
|-------|---|
| 日時・場所 | 平成30年8月29日(水) 15:00~17:30 高松市医師会館 |
| 参加者 | 受講者40名 行政担当者3名 |
| 内 容 | <p>1. 全体説明：在宅医療コーディネーター養成の目的と役割 吉澤委員長</p> <p>2. 情報提供①：在宅医療コーディネーターの役割と業務内容 大橋委員</p> <p>3. 情報提供②：患者・家族の意思決定支援のポイント 片山委員</p> <p>4. グループワーク：自己紹介等</p> |
| 結 果 | <p>1. <u>在宅医療コーディネーター養成の目的と役割について</u></p> <p>○高松市在宅医療介護連携推進会議における取組内容</p> <p>○在宅医療コーディネーターの配置と役割</p> <p>○高松市における医療・介護連携の将来的イメージ</p> <p>2. <u>情報提供①：在宅医療コーディネーターの役割と業務内容について</u></p> <p>○在宅医療コーディネーターとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難事例に必要な、意思決定（ACP）に基づいた支援を行う ・ 関係者に医療とケアマネジメントを含めた介護のサポートを行う ・ 医療～介護の架け橋づくりのサポートを行う <p>○病院完結型医療から地域完結型医療に変換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院医師・在宅医・訪問看護師・介護スタッフと患者・家族との認識（意思決定）の共有が必要であり、これを調整するのがコーディネーターの役割である ・ 医療者は、市民がより良く生活できるように協力していく必要がある <p>3. <u>情報提供②：患者・家族の意思決定支援のポイントについて</u></p> <p>○医療・ケアに関する意思決定支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年3月に改訂された「人生の最終段階における医療・ケアの選択決定プロセスのガイドライン」の変更点を中心に解説 ・ 本人の意思を尊重することが重要であり、そのためにも医療・ケアチームでの合意形成への支援が必要である <p>○意思決定支援＝ナラティブの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人生の物語をナラティブに聴き、生活史を理解することが意思表示に必要である <p>○意思決定支援の三本柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去、現在、未来と本人、家族、医療者の2側面の3本柱を理解することが重要である <p>4. <u>オリエンテーションと自己紹介</u></p> <p>グループに分かれて、オリエンテーションと自己紹介を行う</p> |